日本語教育の体制整備を目指した 中長期的取組 ~事業化のプロセスと取組設計~

令和元年8月1日(木)

文化庁国語課 日本語教育専門職 北村祐人



Japanese Language Education

午後のプログラム内容

- 1. イントロダクション
- (1)日本語教育の現状と課題意識
- (2)事例を聞く前に
- 2. 実践事例
- (1)島根県の取組
- (2)岡山県総社市の取組
- 3. 実践活動アドバイザーからのコメント
- 4. 演習

Japanese Language Education

1. イントロダクション

近年の日本語教育を取り巻く状況

- 1. 近年の増加傾向
 - ・過去5年間で約60万人増加

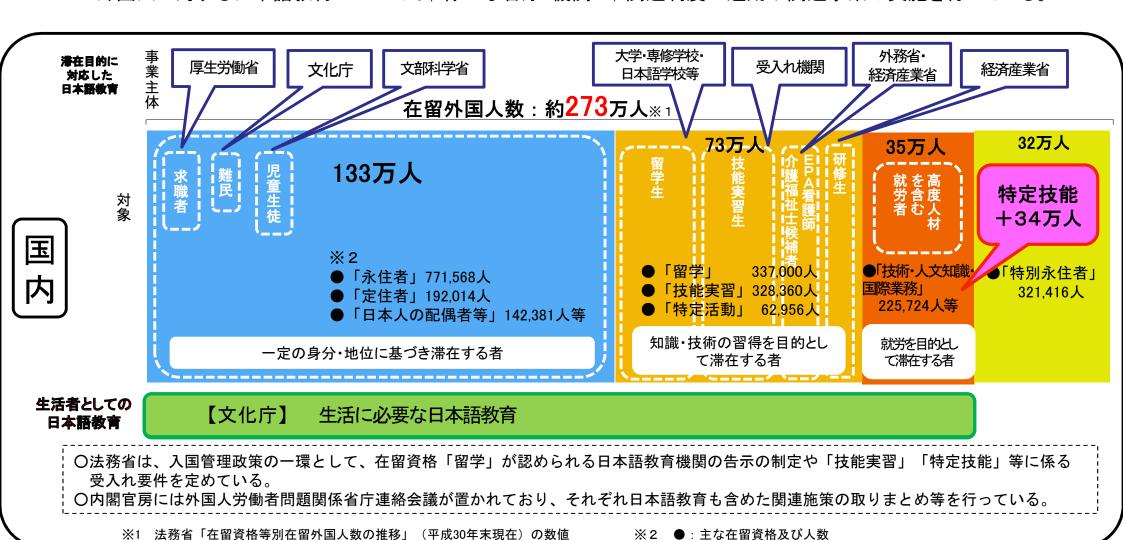
- 2. 改正入管法の改正
 - •在留資格「特定技能」の創設

- 3. 外国人材受入れ・共生のための総
- 4. 日本語教育推進法

急速な 時代の変化

外国人に対する日本語教育の関係省庁・実施主体について

外国人に対する日本語教育については、様々な省庁・機関が、関連制度の運用や関連事業の実施を行っている。



海外における日本語学習者数・・・約365万人※

外務省及び独立行政法人国際交流基金等

(独)国際交流基金「2015年度海外日本語教育機関調査」の数値

玉

出典:文化庁文化審議会国語分科会 日本語教育小委員会(第12回)

目的別日本語学習の分類 専門的事項 にかかわる 日本語 地域/市民 学習に 就労に 生活に かかわる かかわる かかわる 日本語 日本語 日本語 「生活者としての 外国人」に必要 健康・安全にかかわる な日本語 日本語

日本語教育の担当になったものの、どのように日本語教育 事業を立案したらいいか分かりません。



・ 周囲にどのように賛同を得ていけばいいのでしょうか。

- 予算が付きにくいのですが、どのように事業化するのでしょうか。
- 実際の日本語教育は誰がどのようにやっていくのでしょうか。



日本語教育の体制整備を目指した中長期的取組

~事業化のプロセスと取組設計~

<u>どのように</u> 立案していったのか <u>どのような</u>取組を 立案していったのか

日本語教育の実施体制の6つのポイント

~日本語教育の実施機関・団体が外国人とつながる~

[ポイント1]

日本語教育の実施機関・団体が外国人とつながり、<u>日本語学</u>習につなげる

~日本語学習の機会をつくる~

[ポイント2]

日本語教育の実施機関・団体が様々な機関・団体と<u>連携・協働して</u>, 日本語学習の機会をつくる

[ポイント3]

日本語教育の実施機関・団体が様々な機関・団体と連携・協働して、日本語教育だけでなく、地域社会との接点を創る

~日本語学習の機会をつくる~

[ポイント4]

日本語教育の実施機関・団体が様々な機関と連携・協働して、日本語教育だけでなく<u>社会生活におけるニーズに対応する</u>

~日本語教室を安定的に運営する,日本語教育の取組を 広げる~

[ポイント5]

複数の市区町村の連携や都道府県等の<u>広域行政の協力・支援の</u> 下, 日本語教育を実施する

[ポイント6]

日本語教室を安定的に運営したり、日本語教育の取組を広げるため、日本語指導者やコーディネーター等人材を確保・配置する

出典:地域における日本語教育の推進に向けて

―地域における日本語教育の実施体制及び日本語教育に関する調査の共通利用項目について― (報告)

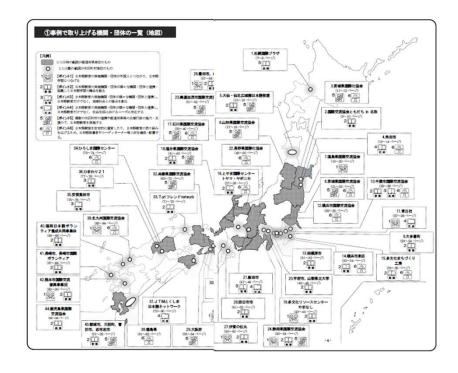
地域における日本語教育の推進に向けて 一地域における日本語教育の実施体制及び日本語教育 に関する調査の共通利用項目について一【事例集】

- 【2.4 日本語教育の実施体制のポイント】
- ●44の事例の実施体制について,

「つながる」 「つくる」 「広げる」 の3つのキーワードと6のポイントで紹介。

4 4 事例 つながる つくる 広げる

6つの ポイント



体制整備 ⇒ 国・都道府県・市町村の役割分担

本語教育の目標及び税制整備の在り方, 評価 指針…	票準的な内容・方法、 の方法等について
内の実情に応じた日本 容等の検討・調整…	語教育の休制整備,
本語教育の内容等のと 指導者の養成…	各機関に 応じた 役割分担を
	制整備の在り方,評価 指針… 内の実情に応じた日本 容等の検討・調整… 本語教育の内容等の

日本語教育の推進に向けた基本的な考え、

文化審議会。

,小委員会 課題整理に関するワーキングクル

日本語教室立ち上げのプロセス(案)

①ビジョンの共有(含視察)

③人材の育成 ②実態調査

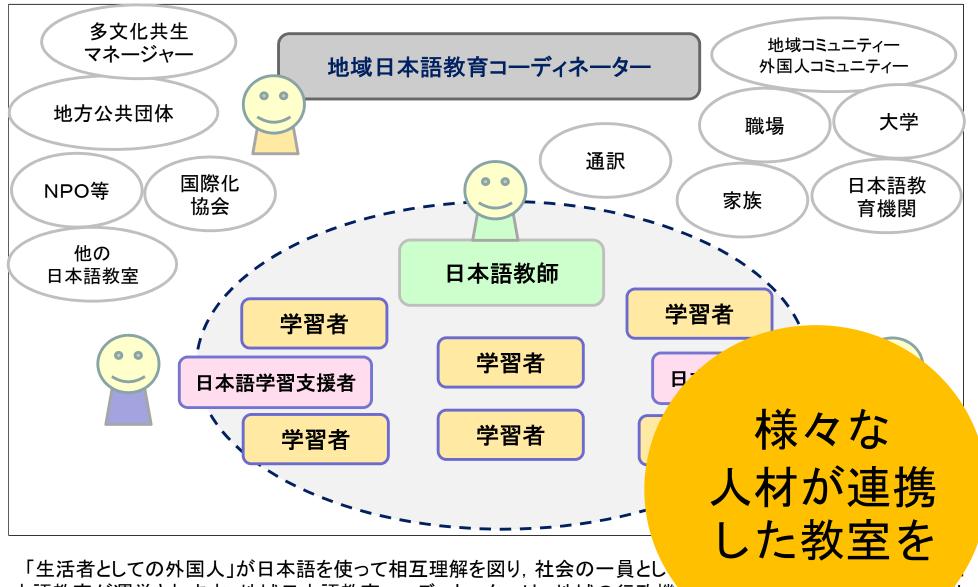
④地域住民の理解促進

5日本語教室の試行

6 評価 · 改善

日本語教室の安定運営へ

【参考資料10-1】「生活者としての外国人」に対する日本語教育人材の連携の一例



2. 実践事例

実践事例

島根県

島根県環境生活部文化国際課 公益財団法人しまね国際センター

岩﨑 靖さん

仙田 武司さん

- ・岡山県総社市 岡山大学大学院社会文化科学研究科 中東 靖恵さん
- ・コメント

特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海 土井 佳彦さん

実践事例1【島根県】

[ポイント1] 外国人とつながり, 日本語学習につなげる [ポイント2] 様々な機関・団体と連携・協働して、日本語学習の機会をつくる [ポイント3] 様々な機関・団体と連携・協働して、 日本語教育だけでなく、地域社会と の接点をつくる

[ポイント4]

様々な機関と連携・協働して、日本語 教育だけでなく社会生活における ニーズに対応する [ポイント5]

複数の市区町村の連携や都道府県 等の広域行政の協力・支援の下, 日本語教育を実施する

6つの ポイントに 焦点を当てて 聞いてみよう ったり,

実践事例2【総社市】

[ポイント1] 外国人とつながり、 日本語学習につなげる [ポイント2] 様々な機関・団体と連携・協働して、日本語学習の機会をつくる [ポイント3] 様々な機関・団体と連携・協働して、 日本語教育だけでなく、地域社会と の接点をつくる

[ポイント4]

様々な機関と連携・協働して、日本語 教育だけでなく社会生活における ニーズに対応する [ポイント5]

複数の市区町村の連携や都道府県 等の広域行政の協力・支援の下、 日本語教育を実施する [ポイント6]

日本語教室を安定的に運営したり, 取組を広げるため,人材を確保・ 配置する 現状(課題認識)



目標(課題が解消された状態)

①課題の発生要因

2解決策

③必要なリソース

現状(課題認識)

日本語ボランティアの不足



目標(課題が解消された状態)

日本語ボランティアの充足

①課題の発生要因

- 日本語教室の認知度が低い
- ・外国語ができないと活動参加できないと思われている

②解決策

- ・市報やHP等で日本語教室のPRを充実させる
- だれでも気軽に参加できることを強調する
- 一人1回300円程度の謝礼をつける

③必要なリソース

- ・市報やHPへの掲載記事(写真入り)
- ボランティア募集チラシ
- ・ボランティア活動謝礼 年5万円程度



[ポイント1] 外国人とつながり, 日本語学習につなげる

[ポイント2]

様々な機関・団体と連携・協働して、日本語学習の機会をつくる

[ポイント3]

様々な機関・団体と連携・協働して、 日本語教育だけでなく、地域社会と の接点をつくる

[ポイント4]

様々な機関と連携・協働して、日本語 教育だけでなく社会生活における ニーズに対応する

[ポイント5]

複数の市区町村の連携や都道府県 等の広域行政の協力・支援の下, 日本語教育を実施する

自分の地域だと どのような 取組ができるで しょうか したり, *保・